

## 「厚真町の夢のある英語教育」の実現をめざして その1

社会のグローバル化が進む中、子どもたちには、国際人として豊かな表現力、コミュニケーション能力が求められています。次世代を担う子どもたちが厚真町を愛し、世界へと視野を広げ国際社会で活躍することができるようにとの願いを込め教育委員会では、胆振管内の他地域に先駆け本町の4校の小・中学校と厚真高校の英語教育担当者による「厚真町英語教育推進委員会」を立ち上げ、北海道科学大学の秋山教授を共同研究者に迎えて「厚真町の夢のある英語教育」の一步を踏み出しました。

平成24年度には、胆振教育局の支援のもと文部科学省の教育課程特例「教育課程の特例校」の指定を受け、小学校1～4年生の英語活動の時間数の確保、中学校での「厚真PR」の実施など、本町の英語教育（活動）の充実を図りました。

平成25年度には、小学校では中学校の「厚真PR」につなげる取り組みとして外国の方に自己紹介する「小学校プロジェクト学習」を新たにスタートさせました。中学校では24年度の活動にあわせて、アメリカのオレゴン州のシェリダン日本語学校の生徒とのビデオレターによる交流、年賀状の交換を開始するなど、小・中学校が連携して一層の先進的な取り組みを進めています。

これらの取り組みの成果は、小学校英語教育学会北海道大会で報告しました。さらに、本町の先進的な取り組みは、胆振教育局の依頼による「小学校外国語活動基礎講座」（厚真中央小学校会場）として胆振管内の先生方に公開され、また、北海道新聞（苫小牧版）やUHBテレビ（上厚真小学校が札幌国際情報高校、登別明日中等教育学校と共に）でも紹介されました。

### 小学校の取り組み



1年生の授業風景



6年生のプロジェクト学習（ALTに自己紹介、学校間で交流）



英語劇（桃太郎）



APR（厚真町PR）



町内英語暗唱大会

これらの取り組みの成果は、平成25年度に実施した児童英検でよい結果につながりました。

平成26年度は、英語教育推進にかかる文部科学省の教育課程特例校指定の3年間のまとめとして、全国小学校英語教育学会での実践報告、厚真中央小学校を会場に公開研究会を予定しています。また、中学校を中心とする取り組みとしては、子どもたちの英語表現力の向上のため英語暗唱大会を予定しており、今年度は、小学生の参加できる部門も予定しているほか、シェリダン校との交流に一層力を入れるためにYouTubeの活用の準備も進めています。

これらの成果を土台として平成27年度からは、小学校から中学校までの教育課程の特例校の地域指定を受け英語教育（活動）の一層の充実を図るよう準備を進めています。